

オオムギ赤かび病の適期防除を!!

赤かび粒は、0.0%を超えて(10,000粒中に5粒)混入すると規格外になります。
赤かび病はムギの開花期頃に高温多雨で多発し、本年4月は気温・降水量ともに
平年並みの予想ですが、出穂期以降に気温が高く降雨が続く場合、注意が必要
です。出穂・開花状況を確認し適期に防除しましょう。

1 防除時期

1回目は出穂5日後の開花始め～盛期

2回目は1回目の7～10日後

必ず2回防除を行いましょう



赤かび病被害（穂と粒）

被害部はサーモンピンク
で表面は粉っぽい

- ムギの開花状況をこまめに確認し、防除が遅れないようにする
- 液剤のほうが粉剤より効果が高くなる。粉剤は朝露で穂が湿っている早朝に散布すると効果が高い
- 希釈倍数をまもり、十分な量を散布する
- 薬剤耐性菌の発生を防ぐため、1回目と2回目の薬剤を変える(RACコードを確認)

2 防除薬剤

※無人航空機とは、無人ヘリおよびドローンのことを指します

薬剤名(RACコード)	使用濃度	使用量 (/10a)	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
トップジンM水和剤(1)	1000～1500倍	60～150L	収穫30日前まで	散布	3回以内 (出穂期以降は 1回以内)
トップジンMゾル(1)	8倍	0.8L	収穫21日前まで	無人航空機による散布※	
トップジンM粉剤DL(1)	—	4kg	収穫14日前まで	散布	2回以内
シルバキュアフロアブル(3)	2000倍	60～150L	収穫14日前まで	散布	
	16倍	0.8L	収穫14日前まで	無人航空機による散布※	1回
チルト乳剤25(3)	1000～2000倍	60～150L	収穫21日前まで	散布	
	8倍	800mL	収穫21日前まで	無人航空機による散布※	3回以内
トリフミン水和剤(3)	1000～2000倍	60～150L	収穫14日前まで	散布	
ワークアップフロアブル(3)	2000～3000倍	60～150L	収穫7日前まで	散布	3回以内
	10～24倍	0.8L	収穫7日前まで	無人航空機による散布※	
ワークアップ粉剤DL(3)	—	3kg	収穫7日前まで	散布	2回以内
ミラビスフロアブル(7)	1500～2000倍	60～150L	収穫14日前まで	散布	
	8～16倍	800mL	収穫14日前まで	無人航空機による散布※	3回以内
ストロビーフロアブル(11)	2000～3000倍	60～150L	収穫14日前まで	散布	

令和7年度農作物病害虫防除指針（福井県）が県HPから閲覧できます。

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/021033/shokuryouanzen/boujoshishin.html>

◇◇◇ 最新の農業登録情報(<https://pesticide.maff.go.jp>)を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室

連絡先：0776(54)9315

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/mushi/kankyo/boujoh.html>

二次元コードをスキャンしてください→

福井県病害虫防除室

